



▲花壇の手入れの後は、市民館ロビーで話が花が咲きます



▲福江小児童と花壇の手入れを行う『はつらつ隊』

地域の話題

福江校区

ふれあいとくつろぎの時間を大切にすま

市民館や校区の活動を通し、シルバー世代の交流や

活躍の場づくりに取り組んでいる

福江校区「コミュニティ協議会からお便りが届きました。



シルバー世代が活躍『はつらつ隊』

福江校区には、元気なシルバー世代が大勢います。しかし、さまざまな事情から老人会の活動が続けられなくなった地域では、外出する機会や人と触れ合う時間が減ってしまうのでは、と心配する声が聞かれました。

そこで、福江校区コミュニティ協議会では市民館の花壇を手入れし、その後、ロビーでお茶を飲みながら楽しくおしゃべりをして過ごしてもらおう『はつらつ隊』を発足しました。昨年度末に募集を始め、現在12名が登録しています。月に1回程度の活動ですが、伸び放題だった花壇の草は、あっという間にきれいになり、シルバー世代のパワーを感じます。



6月には、福江小学校2年生の児童の皆さんと一緒に花の苗を植えました。土の掘り方や植える場所を教えながら、かわいらしい子どもたちとの触れ合いを楽しみました。

校区行事でも交流、活躍

毎年10月に開催する『福江市民館まつり』は、市民館を利用してカラオケや手芸のグループが、日ごろの活動を披露する場となっています。

また、多世代間の交流の場として、福江保育園で『わくわくパーク』を開催し、園児と老人会をはじめとする地域の役員、委員が触れ合う機会となっています。



▲『わくわくパーク』では園児とシルバー世代が昔の遊びで交流

福江校区では、このような活動を通して、シルバー世代が生き生きと楽しく過ごせるまちづくりを進めています。

